京都府 報道発表資料　知事出席行事　式典のお知らせ

府政記者室、各広域振興局、経済記者クラブ　同時資料配付

令和８年11月10日

産業功労者と伝統産業技術者　２３名を表彰

～１１月２６日に京都府公館で表彰式を開催～

■ 京都府では、産業の発展に大きく貢献された産業功労者の皆様や、伝統産業の振興と発展に寄与された技術者の皆様を毎年表彰しています。
■ 今年度は合計２３名の方を表彰し、１１月２６日（木）に表彰式を開催しますので、取材をお願いいたします。

１　受彰者（受彰者の氏名及び功績等は別添のとおり）

京都府産業功労者表彰　１０名
京都府伝統産業優秀技術者表彰　１３名

２　表彰式

日　時：令和８年１１月２６日（木）
午前１０時００分～午前１０時４５分 京都府産業功労者表彰
午前１１時１５分～午前１１時４５分 京都府伝統産業優秀技術者表彰
場　所：京都府公館レセプションホール
（京都市上京区一条下る龍前町５９０番地の１）
授与者：京都府知事　西脇（にしわき）　隆俊（たかとし）

（参考）
○京都府産業功労者表彰
創設：昭和５６年度
概要：商工業団体の運営又は事業活動等を通じ、京都府の産業の発展に大きく貢献された方々を表彰。（昨年度までの受彰者数　４１０名）

○京都府伝統産業優秀技術者表彰
創設：昭和３６年度
概要：府内の伝統産業に従事し、優れた技術をもって、多年にわたりその振興と発展に寄与したものを表彰し、併せて後継者の育成を図る。
（昨年度までの受彰者数　１，３３８名）

【本報道発表に関するお問合せ】
（京都府産業功労者表彰について）
商工労働観光部産業労働総務課　課長　安藤　TEL 075-414-4815
課長補佐兼係長　豊嶋　TEL 075-414-4818
（京都府伝統産業優秀技術者表彰について）
商工労働観光部染織・工芸課　課長　中埜　TEL 075-414-4855
課長補佐兼係長　水梨　TEL 075-414-4856



令和８年度

京都府産業功労者表彰

表彰式次第・受彰者名簿

京　都　府

表　彰　式　次　第

１　日　時　　令和８年１１月２６日（木）

午前１０時００分～午前１０時４５分

２　場　所　　京都府公館　１階　「レセプションホール」

３　次　第　　開　　会

表　彰　状　授　与

京都府知事あいさつ

来　賓　祝　辞

閉　　会

（閉会後、記念写真撮影）

令和８年度　京都府産業功労者表彰　受彰者一覧

氏　名	年齢	主要経歴	住　所
大石（おおいし）　美千代（みちよ）	77	宮川町お茶屋組合 組合長	京都市東山区
葛城（かつらぎ）　万寿子（ますこ）	69	京都商工会議所女性会 前会長	京都市下京区
川勝（かわかつ）　啓史（ひろし）	65	亀岡商工会議所 前会頭	亀　岡　市
小西（こにし）　秀人（ひでと）	66	京都電機器株式会社 代表取締役社長	宇　治　市
土井（どい）　健資（けんすけ）	63	公益社団法人京都府物産協会 前会長	京都市下京区
西村（にしむら）　公男（きみお）	70	京都紙工協同組合 前理事長	京都市下京区
村尾（むらお）　修（おさむ）	66	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 前代表取締役社長	京都市南区
山田（やまだ）　容永（やすのり）	71	京都友禅協同組合 理事長	京都市下京区
行待（ゆきまち）　佳平（よしへい）	71	京丹後市商工会 会長	京丹後市
吉田（よしだ）　典生（のりお）	73	三和化工株式会社 前代表取締役社長	京都市南区

（五十音順、敬称略、年齢は表彰日現在）

氏名・年齢・住所	主　要　経　歴	功　　績
大石（おおいし）　美千代（みちよ） （７７歳） 京 都 市 東 山 区	宮川町お茶屋組合 組合長 堀八重 女将	長年にわたり宮川町お茶屋組合の役員を務め、後継者の育成等を通じて、花街文化と伝統伎芸の保存・継承に大きく貢献している。特に、京都の春を彩る風物詩「京おどり」においては、自身が芸妓・舞妓であった経験と知見を活かして維持継承・発展に尽力している。 また、社会環境の変化を踏まえ、個人情報保護やハラスメント防止などの観点から組合規約の抜本的な見直しを主導するとともに、宮川町芸妓組合規約の制定に積極的に助言・協力し、組織運営の透明性向上と適正化にも大きく寄与した。 宮川町歌舞練場建替事業においては、関係機関との調整や合意形成において中心的な役割を果たした。長年、歴史ある花街文化を育んできた歌舞練場の伝統と記憶を次代へ継承するとともに、新たな文化発信と交流の拠点として再生させ、花街文化の振興と地域の活性化に大きく貢献した。
葛城（かつらぎ）　万寿子（ますこ） （６９歳） 京 都 市 下 京 区	京都商工会議所女性会 前会長 有限会社かつらぎ 専務取締役	長年にわたり京都商工会議所女性会役員として、女性起業家の交流促進や人材育成に尽力するとともに、社会貢献活動を通じた地域経済の活性化に寄与した。 令和元年には関西商工会議所女性会連合会総会の京都開催を実現し、実行委員長として約680名が参加する総会を成功に導いた。また、会長在任中には創立40周年記念事業の開催や大阪商工会議所女性会との交流事業を立ち上げるなど、女性起業家の連携強化に尽力した。 さらに、コロナ禍において、女性会活動が制限を受ける中、「七夕チャリティーコンサート」のハイブリッド開催を実現し、活動の継続を支えたほか、令和６年能登半島地震の際には、文化庁と連携して被災文化財修復支援に尽力するなど文化・社会福祉事業の維持・発展に大きく貢献した。

氏名・年齢・住所	主　要　経　歴	功　　績
かわかつ　ひろし 川勝　啓史 （６５歳） 亀 岡 市	亀岡商工会議所 前会頭 丸亀瓦斯株式会社 代表取締役	長年にわたり亀岡商工会議所会頭として地域経済の振興に尽力し、国の経営発達支援計画の認定取得を主導するとともに、小規模事業者に対する経営分析や販路開拓支援に取り組み、地域企業の経営基盤の強化と持続的発展に大きく貢献してきた。 特に、新型コロナウイルス感染症の拡大時には相談窓口を設置し、２年間で976件に及ぶ相談に対応するなど、多くの事業者の事業継続と雇用維持を支援し、地域経済への影響緩和に大きな役割を果たした。 また、令和４年には亀岡市及び京都先端科学大学との産学公連携を主導し、オープンイノベーションセンター亀岡（ＯＩＣＫ）の開設に尽力した。共同研究や人材育成、先端技術分野における実証研究の推進を通じて、地域発のイノベーション創出と産業の高度化に大きく寄与している。
こにし　ひでと 小西　秀人 （６６歳） 宇 治 市	京都電機器株式会社 代表取締役社長	京都電機器株式会社に入社後、技術者として電源装置等の設計・開発経験を重ねるとともに、東京営業所を立ち上げた。平成８年に代表取締役社長に就任後、本社工場統合や中国・上海への工場進出を実現するなど、経営基盤強化と事業拡大を牽引している。 また、パワーエレクトロニクス事業及びオプトエレクトロニクス事業を成長の柱として育成した結果、同社が製造する瞬時電圧低下保護装置の高い技術が評価され、世界最大規模の放射光研究施設に導入されるなど、国内外の先端研究や産業活動を支える重要な役割を果たしている。 さらに、地元大学や企業との共同研究を通じて、ＳｉＣ半導体デバイスを活用した高効率かつ小型の電源装置開発を実現するなど、産学連携による技術革新を先導したほか、府内企業の技術力向上に大きく貢献している。

氏名・年齢・住所	主　要　経　歴	功　　績
土井（どい）　健資（けんすけ） （６３歳） 京 都 市 下 京 区	公益社団法人京都府物産協会 前会長 公益財団法人京都産業２１ 理事 土井志ば漬本舗 代表取締役社長	長年にわたり公益社団法人京都府物産協会の役員として、京都展の開催や京都ブランドの発信に尽力し、京都府の文化、観光及び物産の振興を通じて地域経済の発展に尽力してきた。 平成26年には台北における「京のおもてなし」事業を推進し、伝統工芸品の展示や芸舞妓による文化発信、京料理の紹介などを通じて、京都の多彩な魅力を海外に広く発信した結果、京都ブランドの認知度向上と国際交流の促進に寄与した。 また、会長就任後は、新宿京王百貨店における京都展の初開催を実現するとともに、コロナ禍により物産展の中止が相次ぐ中、開催手法の見直しやネットショップ企画を主導するなど、京都展の継続開催に尽力した。これらの取組を通じて、府内事業者の販路確保及び府内物産振興に大きく貢献した。
西村（にしむら）　公男（きみお） （７０歳） 京 都 市 下 京 区	京都紙工協同組合 前理事長 株式会社西村紙行所 代表取締役社長	長年にわたり京都紙工協同組合の役員として紙工業界の発展と組合活動の活性化に尽力してきた。理事長就任後は、経営や労務管理に関する研修会に加え、断裁機安全講習会を継続的に開催し、業界における労働安全意識の向上と災害の未然防止に大きく寄与した。 また、デジタル化の進展や脱プラスチックの潮流など、業界を取り巻く環境が変化する中、京都ものづくりフェアへ出展し、紙製品の組立体験等を通じて紙の魅力や可能性を発信することで、紙工業界の価値向上に尽力した。 さらに、令和６年には組合創立100周年・改組50周年記念事業を主導し、記念誌の作成と式典開催により、業界の歴史や技術の継承を図るとともに、組合員相互の連携強化に尽力するなど、府内の紙工業及び印刷関連産業の持続的発展に大きく貢献した。

氏名・年齢・住所	主　要　経　歴	功　　績
むらお　おさむ 村尾　修 （６６歳） 京 都 市 南 区	株式会社 ジーエス･ユアサ コーポレーション 前代表取締役社長 公益社団法人京都工業会 前会長	平成27年に株式会社 ジーエス･ユアサ コーポレーションの代表取締役社長に就任して以来、品質を経営の根幹に据え、「現地・現物・現実」の三現主義に基づく現場重視の経営を徹底し、品質改善活動の全社展開や組織改革を推進することで、競争力の向上と持続的成長を支える経営体制の確立を主導してきた。 また、国内外における事業基盤の強化を図るとともに、長期ビジョン「Vision2035」の策定を主導し、モビリティ及び社会インフラ分野を成長領域として位置付けるなど、蓄電池技術を核とした将来の成長戦略を示した。 さらに、京都工業会会長として、企業課題の解決に資する研修や職場見学会を積極的に実施したほか、大阪・関西万博を契機に会員企業間の新たな連携創出を推進するなど、京都産業の発展に大きく貢献した。
やまだ　やすのり 山田　容永 （７１歳） 京 都 市 下 京 区	京都友禅協同組合 理事長 京友禅協同組合連合会 理事長 公益財団法人和装産業振興財団 副理事長 京都府中小企業団体中央会 副会長 株式会社京染せい山 代表取締役	京都友禅協同組合の役員として長年にわたり京友禅の振興と発展に尽力してきた。理事長就任後は、チャイナドレス等の新商品開発や海外展開を推進するとともに、京友禅総合展の開催などを通じて京友禅の魅力発信に努め、新たな需要創出と販路拡大を牽引している。 また、手描友禅の意匠等約5,000点に及ぶ資料のデジタル化を推進し、貴重な技術・技法の継承基盤の整備に尽力するとともに、若手職人等を対象とした実技研修を継続的に実施し、次代を担う人材の育成と伝統技術の継承に大きく寄与している。 さらに、西陣織や丹後織物産地との連携を主導し、合同展示会の開催等を通じて京都の伝統工芸品の魅力発信と価値向上に努めるとともに、産地間連携による販路開拓を推進するなど、京都府伝統産業の振興と発展に大きく貢献している。

氏名・年齢・住所	主　要　経　歴	功　　績
ゆきまち　よしへい 行待　佳平 （７１歳） 京 丹 後 市	京丹後市商工会 会長 京都府商工会連合会 副会長 竹野酒造有限会社 代表取締役	長年にわたり京丹後市商工会会長を務め、将来ビジョンの策定を主導するとともに、その実現に向けて府内商工会としては初となる自治体への職員出向研修を実現するなど、人材育成及び組織改革を推進し、商工会機能の強化と支援体制の充実に尽力している。 また、コロナ禍やエネルギー価格高騰時には、実態調査を基に支援施策の創設に寄与するとともに、事業者への伴走型支援を推進し、地域企業の経営基盤強化と地域経済への影響緩和に大きな役割を果たした。 さらに、「旬でもてなす食の観光」の推進や「丹後ちりめんロール®」の開発・商標登録を主導するなど、地域資源を活用したブランド力向上に尽力したほか、産官学金の連携を先導し、府北部地域の産業振興と地域経済の活性化に大きく貢献している。
よしだ　のりお 吉田　典生 （７３歳） 京 都 市 南 区	三和化工株式会社 前代表取締役社長 公益社団法人京都工業会 理事	平成８年に三和化工株式会社の代表取締役社長に就任して以来、発泡分野における技術開発と事業拡大を推進し、同社の持続的成長と企業価値の向上に大きく貢献してきた。 従来の素材供給中心の事業構造から、顧客ニーズを踏まえた高機能製品の企画・開発・販売を行う事業モデルへの転換を主導し、自社開発による完成品の販路を拡大した。その結果、顧客ニーズに即した製品の開発及び新たな市場の開拓を実現し、素材供給にとどまらない付加価値創出型企業への発展を牽引した。 また、京都大学において若手研究者への顕彰制度を創設し、次代を担う高度人材の育成に尽力するとともに、京都先端技術研究会の委員長等を歴任し、産学官連携による技術交流を牽引した。これらの活動を通じて、府内先端技術の振興とものづくり産業の発展に大きく寄与した。

令和８年度

京都府伝統産業優秀技術者表彰

受彰者名簿

京　　都　　府

令和８年度京都府伝統産業優秀技術者表彰　受彰者名簿

（ふりがな） 氏　名	職　種	推薦団体
伊藤（いとう）　聡（さとし）	陶磁器	京都青窯会協同組合
呉山（くれやま）　相栄（そうえい）	絞染（染分）	京鹿の子絞振興協同組合
小泉（こいずみ）　貴嗣（たかし）	印章彫刻	京都府印章業協同組合
小糸（こいと）　太郎（たろう）	型友禅	京都友禅協同組合
斎藤（さいとう）　永雄（ながお）	神具	京都神祇工芸協同組合
島田（しまだ）　典一（のりかず）	陶人形	京陶人形工芸協同組合
髙松（たかまつ）　大嗣（ひろつぐ）	糸染	京都府繊維染色工業組合
土田（つちだ）　博之（ひろゆき）	陶人形	京陶人形工芸協同組合
富川（とみかわ）　愛莉紗（ありさ）	手描友禅	京都手描友禅協同組合
中井（なかい）　伸明（のぶあき）	仏壇仏具彫刻	京都府仏具協同組合
牧野（まきの）　明（あきら）	製織	西陣織工業組合
森　勝治（もりかつじ）	堂宮大工	一般財団法人 京都伝統建築技術協会
山田（やまだ）　栄次（えいじ）	造園	京都府造園協同組合

（５０音順、敬称略）

（年齢及び従事年数は令和８年11月26日現在）

氏　　名 （住　所）	職種・従事年数（府内） 推　薦　団　体	年齢	事　　績
 いとう　さとし 伊藤　聡 （伏見区）	陶　磁　器 （43年） 京都青窯会協同組合	63歳	・昭和58年に嘉峰陶苑に入り、現在に至る。京都府立陶工訓練校及び京都市立工業試験場で研鑽を積んだ。 ・京焼・清水焼の制作に43年間従事し、成形から絵付け、陶画まで幅広い技術に精通している。タタラ成形による大型作品制作や釉薬開発を得意としている。 ・温湿度管理を徹底し、高品質な作品を生み出しており、その技術は業界から高く評価されている。 ・平成19年に伝統工芸士（京焼・清水焼／成形部門）に認定。伝統工芸士会副会長を務めるほか、後進育成にも尽力している。
 くれやま　そうえい 呉山　相栄 （中京区）	絞染（染分） （56年） 京鹿の子絞振興協同組合	74歳	・昭和45年に神農絞り工芸へ入社後、昭和49年に独立し、現在に至る。 ・京鹿の子絞りの染め分け工程に56年間従事し、桶絞りや帽子絞りなど多様な技法に精通する。桶絞りに卓越し、複雑な柄でも精緻な染め分けを行うことができる。 ・継承者の少ない桶絞りの技術を守り続け、その仕事ぶりは業界から高く評価されている。 ・平成6年に伝統工芸士（京鹿の子絞／染色部門）に認定。学校での体験事業や後進育成に取り組み、技術継承に貢献している。
 こいずみ　たかし 小泉　貴嗣 （中京区）	印　章　彫　刻 （32年） 京都府印章業協同組合	61歳	・昭和60年に小泉湖南堂へ入社後、株式会社たち吉を経て、平成12年に家業を継承し、現在に至る。 ・印章彫刻に32年間従事し、書道の知識を活かし、字入れから彫刻、仕上げまでを一貫して手掛ける。 ・京印章特有の筆意を巧みに表現し、優れた意匠構成力を有する。その仕事ぶりは業界から高く評価されている。 ・一級技能士、ものづくりマイスター、京都市伝統産業「未来の名匠」に認定。体験事業などを通じて印章文化の普及にも尽力している。
 こいと　たろう 小糸　太郎 （山科区）	型　友　禅 （40年） 京都友禅協同組合	61歳	・昭和61年に株式会社栗山工房へ入社後、株式会社小糸染芸へ入社し、平成24年に代表取締役に就任、現在に至る。 ・京友禅の型染技術に精通し、「摺り友禅」、「写し友禅」などの技法を得意とする。「鮫小紋」をはじめとする精緻な加工技術に優れる。 ・伝統的な色彩を継承しながら新たな色遣いにも取り組み、その技術は業界から高く評価されている。 ・平成10年に伝統工芸士（京友禅／型染部門）に認定。組合理事や伝統工芸士会副会長を務めるなど業界振興に貢献している。

氏　　名 （住　所）	職種・従事年数（府内） 推　薦　団　体	年齢	事　　績
 さいとう　ながお 斎藤　永雄 （北区）	神　　具 （45年） 京都神祇工芸協同組合	67歳	・昭和56年に斎藤糸店に入社し、平成6年に斎永株式会社代表取締役に就任、現在に至る。 ・神具用房紐の製造に45年間従事し、合糸から房仕上げまで一貫して行う数少ない職人である。 ・神馬を飾る三懸や伝統的な房紐の製作に卓越し、大相撲 行司装束を飾る菊綴を製作できる国内唯一の職人として知られる。文化財修復にも数多く携わっており、その技術は業界から高く評価されている。 ・組合理事を務めるほか、講習会講師として後進育成に尽力し、神祇工芸の技術継承に貢献している。
 しまだ　のりかず 島田　典一 （東山区）	陶　　人　　形 （46年） 京陶人形工芸協同組合	68歳	・昭和55年より四世島田耕園に師事し、平成3年に五世島田耕園を襲名、現在に至る。 ・陶胎御所人形を制作する府内唯一の職人であり、胡粉を幾重にも重ねて磨き上げる柔らかな白の表現を得意としている。 ・原型制作から焼成、彩色まで手掛け、伝統を守りながら品格ある京陶人形を制作しており、その技術は業界から高く評価されている。 ・組合理事長を歴任し、展示会や体験教室などを通じて京陶人形の普及と業界振興に貢献している。
 たかまつ　ひろつぐ 髙松　大嗣 （北区）	糸　　染 （36年） 京都府繊維染色工業組合	61歳	・昭和59年に阪本商事株式会社へ入社後、京都染工所を経て、令和6年に株式会社京都染工所を設立し、代表取締役に就任、現在に至る。 ・35年以上にわたり糸染に従事し、手染め・勘染めによる糸染技術を得意とする。300種類以上の染料や薬品の特性を熟知し、求められる色を的確に再現する。 ・「黄櫨染」や「麹塵」の再現にも取り組み、その技術は業界から高く評価されている。 ・平成25年に伝統工芸士（西陣織／染色部門）に認定。組合理事、副理事長を歴任し、後進育成と業界振興に貢献している。
 つちだ　ひろゆき 土田　博之 （右京区）	陶　　人　　形 （43年） 京陶人形工芸協同組合	64歳	・昭和58年に株式会社土田人形へ入社後、人形師一木要二郎氏に師事し、平成13年に代表取締役社長に就任、現在に至る。 ・企画から原型制作、型作り、彩色まで全工程を一貫して行う数少ない京陶人形職人である。 ・自然な陰影や質感を表現する造形に優れ、力強さと繊細さを併せ持つ作品づくりは業界から高く評価されている。 ・組合理事長を務めるほか、工房見学や制作体験を通じて京陶人形の普及と後進育成に尽力している。

氏　　名 （住　所）	職種・従事年数（府内） 推　薦　団　体	年齢	事　　績
 とみかわ　ありさ 富川　愛莉紗 （奈良市）	手　描　友　禅 （46年） 京都手描友禅協同組合	70歳	・昭和53年に日本染織学園で京友禅を学び、昭和55年に工房愛莉紗を開業し、現在に至る。 ・手描友禅に46年間従事し、柔らかく品のある彩色表現を得意としている。花弁や葉の彩色表現に優れ、京友禅らしい優美な作品を制作している。 ・生地選定から下絵、彩色までを一貫して手掛け、その技術は業界から高く評価されている。 ・平成27年に伝統工芸士（京友禅／手描部門）に認定。作品展示や染色教室などを通じて業界振興に貢献している。
 なかい　のぶあき 中井　伸明 （山科区）	仏壇仏具彫刻 （44年） 京都府仏具協同組合	62歳	・昭和57年に田畑木彫工へ入社し、田畑修氏に師事。平成4年に中井木彫工を設立し、現在に至る。 ・寺院仏具の木彫刻に従事し、蓮や牡丹、龍など多様な意匠を精緻に彫り上げる技術を有する。 ・知恩院や廬山寺、金戒光明寺などの寺院仏具の制作・修復にも携わり、その技術は業界から高く評価されている。 ・平成28年に伝統工芸士（京仏具／木彫刻部門）に認定。組合理事や研修委員長を務めるとともに、後進育成に尽力している。
 まきの　あきら 牧野　明 （北区）	製　　織 （47年） 西陣織工業組合	73歳	・昭和54年に株式会社浅野織屋に入社後、株式会社盡政を経て、令和5年に岡文織物株式会社へ入社、現在に至る。 ・西陣織の製織に47年間従事し、手織による袋帯の製織を手掛ける。多彩な色糸を用いた「唐織」を得意とし、豊かな色彩と立体感のある文様を表現する。 ・糸づくりから仕上げまで製造工程全般に精通し、自ら撚糸した絹糸や金糸を用いた製織にも優れる。その技術は業界から高く評価されている。 ・工房見学での実演や後進指導を通じて、西陣織の技術継承と産地振興に貢献している。
 もり　かつじ 森　勝治 （右京区）	堂　宮　大　工 （43年） 一般財団法人 京都伝統建築技術協会	62歳	・昭和58年に株式会社奥谷組へ入社し、現在に至る。 ・堂宮大工として43年間従事し、知恩院本堂や伏見稲荷大社御茶屋をはじめとする国宝・重要文化財の修復に携わっている。 ・規矩術に優れ、原寸図作成から墨付け、加工、組立てまで手掛ける。その精緻な仕事ぶりは業界から高く評価されている。 ・若手職人への技術指導にも積極的に取り組み、伝統建築技術の継承と後進育成に貢献している。

氏　　名 （住　所）	職種・従事年数（府内） 推　薦　団　体	年齢	事　　績
 やまだ　えいじ 山田　栄次 （右京区）	造　　園 （42年） 京都府造園協同組合	62歳	・昭和59年に有限会社河原造園へ入社後、平成2年に北嵯峨山田造園へ入社し、平成3年に代表に就任、現在に至る。 ・京都の伝統的な作庭技術を継承し、石組や植栽を巧みに配置した庭園づくりを得意としている。 ・周辺環境との調和を図りながら自然へ溶け込む庭園を創出しており、その誠実な仕事ぶりは業界から高い評価を得ている。 ・組合理事や技能検定委員を歴任し、若手職人の育成や技能向上に尽力するなど、業界振興に貢献している。